

339 腎動態スキャンのリアル・タイムコンピュータデータ登録システムの開発
伊藤和夫, 伊藤佐智子, 入江五朗 (北大, 放)

現在, 北大放射線科の核医学検査データは約1万件がコンピュータに登録されている。症例の核医学検査病歴, 各検査の年次推移, 疾患別にみた検査の特徴などに利用されている。しかし, 多様な核医学検査を一定の情報量に制限して登録してあるデータは, より詳細な個々の検査データの処理となると問題点が仕第に明確になってきている。独自のシステムを用いている以上, 当然予想されていた事ではあるが, 今回, これらの問題点を補う目的で, 動態腎スキャンに限りリアル・タイムデータ登録コンピュータシステムを開発したので報告する。

本システムは, 従来の核医学データ登録システムの基本的データ構成と比較して, 患者一般情報, 被検査の臨床診断情報, 臨床検査情報, 核医学イメージ診断情報に加え, 腎動態曲線処理情報を曲線データの濃縮した型で入力がなされている点が大きく異なっている。コード表やデータ用紙への記入を省略した対話形式によるデータ入力法を採用した。本システムの開発に伴い, データ入力の重複を避け, コード表参照に伴う時間的浪費を防ぐ事ができる。

340 血中 Free Testosterone の測定
森本勲夫, 佐藤賢士, 岡本純明, 和泉元衛
長瀬重信 (長崎大, 一内)
岩崎宏司, 計屋慧實 (同, 放)

血中 testosterone は, 大部分が結合蛋白と結合し, 微量の遊離型 (free) testosterone が標的細胞でその作用を発揮する。したがって, 血中 free testosterone は血中 total testosterone より患者の androgenicity を反映する。今回, 我々は各種疾患の free testosterone を測定しその臨床的意義について報告する。

Free testosterone の測定は Vermulen の行った dialysis 法で % free testosterone (%FT) を求め, absolute free testosterone (AFT) は血中 total testosterone (T) との積で得た。正常男子 (n=19, 20~53才) の血中 T は $559 \pm 186 \text{ ng/dl}$, %FT は $20 \pm 0.4\%$, AFT は $104 \pm 28 \text{ ng/dl}$, 正常女子 (n=15, 18~40才) の T は $48 \pm 13 \text{ ng/dl}$, %FT は $13 \pm 0.2\%$, AFT は $0.6 \pm 0.2 \text{ ng/dl}$ であった。妊婦 (n=8, 24~30才) の T は $76 \pm 36 \text{ ng/dl}$, %FT は 0.4 ± 0.2 , AFT は $0.3 \pm 0.1 \text{ ng/dl}$, 多毛症, Cushing 症候群では, %FT は上昇し, AFT は正常女子より高い値を示した。一方, 甲状腺機能亢進症では男女例とも T の上昇, %FT の低下を示したが, AFT は正常であった。Free testosterone は total testosterone より患者の androgenicity を良く反映した。